

# 1. 研究大会プログラム

第1日:2024年12月14日(土)

時間/会場	M401/M402 講義室	M201/M202 講義室	M203 講義室	M204 講義室
11:30~	(受付開始)			
12:00~12:25	情報ネットワーク法学会総会			
12:25~12:30	情報ネットワーク法学会理事会			
12:30~12:40	(休憩)			
12:40~13:00	【開会挨拶】 菊池浩明 情報ネットワーク法学会理事長			
13:00~14:00	【基調講演】 藤代裕之 法政大学教授 「偽・誤情報対策とニューストラスト」			
14:00~14:30	(休憩)			
14:30~16:00 分科会第1部		【第1分科会】 AI 統治の具体化 - AI ガバナンス及びマネジメントシステム規格制定の意義と期待 (ロボット法研究会)	【第2分科会】 企業・組織間の協創と協業～変 わりゆく法・社会・組織のデータ活 用とコミュニケーション (個人情報保護研究会)	【第3分科会】 デジタル広告の行方ーSNS なり すまし詐欺広告訴訟を題材に (ネット社会法務研究会)
16:00~16:15	(休憩)			
16:15~17:45 分科会第2部		【第4分科会】 人工知能の時代におけるアバタ ー労働の課題 (ビジネス法務研究会)	【第5分科会】 官民一元化定着後の地方公共団 体における個人情報保護実務 (個人情報保護研究会)	

※書籍展示:2階グループワーク室

18:00~20:00 懇親会 会場: 広島大学東千田キャンパス 総合校舎L棟1階生協食堂 (東千田未来創生センター隣接)

第2日:2024年12月15日(日)

時間/会場	M203 講義室	M204 講義室	M303 講義室	M304 講義室	M401 講義室	M402 講義室
09:15~	受付開始					
	【個別報告1】 人格権／自動運転 司会:桑原理事	【個別報告2】 青少年・労働者・消費者保護 司会:鈴木理事	【個別報告3】 プラットフォーム・表現の自由 司会:橋本理事	【個別報告4】 AIと法的規制 司会:成原理事	【個別報告5】 プライバシー・個人情報 司会:薦前理事	【個別報告6】 非個人情報・データベース／社会基盤 司会:西貝理事
09:30~10:00	●報告 1-1 AI が法的人格を持つことの可否に関する研究動向 (中川裕志)	●報告 2-1 メタバース空間におけるトラブルの紛争解決と消費者保護 (長島光一)	●報告 3-1 インターネット上の犯罪報道記事に関する犯罪被害者遺族からの削除請求の可否 (船越雄一)	●報告 4-1 人工知能規制における議会の居場所 (帆足優希)	●報告 5-1 個人データの取扱いに関する責任者の義務化(法制化)についての検討 (三上能之)	●報告 6-1 誤振込みにより取得した預金を原資とするデビットカード使用・銀行口座振込みに対する電子計算機使用詐欺罪の適用の可否 (那須翔)
10:00~10:05	(休憩)					
10:05~10:35	●報告 1-2 声の法的保護 (利根川愛蓮)	●報告 2-2 スマホソフトウェア競争促進法を前提とした青少年保護の検討 (上沼紫野)	●報告 3-2 「誹謗中傷」に対する法規制の注意点と今後の方向性 (星野豊)	●報告 4-2 日本の AI 法規制とその課題—ソフトロー・ハードローの組み合わせを含めた技術発展に対応する法制度の模索 (寺田麻佑)	●報告 5-2 プライバシー保護における「人権の私人間効力」論の射程 (佃貴弘)	●報告 6-2 データの越境流通に関する国際ルール策定のための課題と日本の役割 (片岡弘)
10:35~10:40	(休憩)					
10:40~11:10	●報告 1-3 音声を巡る取引に関する考察—VTuber・歌い手等における音声取引の発展を見据えて— (星野怜)	●報告 2-3 大学生および高校生に対する情報セキュリティリスクの効果的な学習を促すための教材開発 (花田経子)	●報告 3-3 アルゴリズムによって提供されたコンテンツとプラットフォームの責任 (Ruben E. Rodriguez Samudio)	●報告 4-3 AI 規制と安全保障—リスク管理とサイバーセキュリティに関する日本・EU・中国・米国における規制の最新動向と比較からみる日本への示唆 (寺田麻佑 他)	●報告 5-3 個人情報の「不適正」な利用とは何か—判断要素及び判断方法についての一試論 (遠藤洋一)	●報告 6-3 EU データ法における営業秘密保護条項の意義とスコープ (石川智也)
11:10~11:15	(休憩)					
11:15~11:45	●報告 1-4 中国民法典における「声の権利」規定に関する考察 (荒岡草馬)	●報告 2-4 生理休暇制度に関する情報法的課題について (松瀬萌々香)	●報告 3-4 SNS における裁判官の表現の自由の範囲 (小倉秀夫)	●報告 4-4 データ収集と AI 分析における法的課題:AI の悪と偽情報への法的アプローチの可能性 (湯浅壘道 他)	●報告 5-4 公的部門における自主的な匿名加工情報の作成及び提供に関する考察 (板倉陽一郎)	●報告 6-4 不法行為における因果関係立証の数学的基礎づけと情報法制 (村上真悟)

時間/会場	M203 講義室	M204 講義室	M303 講義室	M304 講義室	M401 講義室	M402 講義室
11:45~11:50	(休憩)					
11:50~12:20	●報告 1-5 人と自動運転の共存 社会における交通慣 習に関する研究 (秋山真鈴 他)	●報告 2-5 プラットフォームワーカ ー保護の法政策 (三浦優歩)	●報告 3-5 競争法における自己優越 の反競争的効果の法的 判断について (隅田浩司)	●報告 4-5 アメリカにおける選挙に関 する AI 利用・ディープフェ イク規制の現状 (湯淺壱道)	●報告 5-5 個人情報保護委員 会の権限に係る考 察 個人情報保護法 いわゆる3年ごと見 直しに見るデジタル 社会実態に即した政 策立案及び立法機 能 (日置巴美)	●報告 6-5 法情報データ整備における 生成 AI の利用 (佐野智也)
12:20~12:25	(休憩)					
12:25~12:55		●報告 2-6 「NFT の盗難」に対する 法的救済の整理とその 限界 (吉村朋子)	●報告 3-6 実名報道に関する議論と 容疑者地番報道事件の 分析 (澤田翔)	●報告 4-6 ブレインテックの投げかけ る ELSI に対する挑戦とそ れに対する対応 (松尾剛行、小松詩織)	●報告 5-6 漏えい等の「おそ れ」を正しく恐れる (蔦大輔)	●報告 6-6 没入型技術から生み出さ れる「複合環境」とメタバ ースのルールとの接合点 (川本大功)
12:55~14:30	(昼食休憩)					
14:30~16:00 分科会第 3 部				【第6分科会】 情報流通プラットフォーム 対処法時代の最新実務 (プロバイダ責任制限法研 究会)	【第7分科会】 サイバー攻撃被害と 官民連携のあり方 ～個人データ漏えい 等対応とサイバー安 全保障 (サイバーセキュリテ ィ法研究会)	【第8分科会】 プロジェクトマネジメント義 務及び協力義務の 10 年 (ビジネス法務研究会)
16:00~16:15	(休憩)					
16:15~17:45 分科会第 4 部				【第9分科会】 情報流通プラットフォーム における規制と責任 (ビジネス法務研究会)	【第10分科会】 プライバシー権と個 人情報保護法制の 関係について(第 2 弾) (プライバシー法理 論研究会)	【第11分科会】 インターネット投票の現状 と課題 (インターネット投票研究 会)

※書籍展示：2階グループワーク室